

もしかしたら敗血症



敗血症（セプシス）は**医療上の緊急事態で、早急な治療を必要とします。**

敗血症は、感染症に対して体が極度の反応を示し、体内の組織や内臓を自ら損傷することによって発症します。敗血症は体のあらゆる部分に損傷を与え、時には死に至らせることもあります。敗血症から回復するために一番重要なことは、早く治療を受けることです。

お子さんが敗血症にかかっているかどうか、認識することは困難なことがあります。初期症状が軽い感染症と同じためです。その違いは、お子さんの症状が回復しないか、または悪化することがあるときに現れます。

敗血症は稀ですが、子供たち全てに発症する可能性があり、私たち全員が注意すべき点を知っておく必要があります。

お子さんのことを一番ご存じなのはあなたです。ですから、**あなたの直感を信じてください。**もし、お子さんがこれまでになく具合が悪い場合、または、症状がほかの時と違う場合、医師または看護師に**敗血症ではありませんか**と尋ねてください。

下記の症状のどれか一つでも当てはまる場合、お子さんはとても具合が悪く、敗血症になっている可能性があります。



小児敗血症チェックリスト

もしお子さんの症状が回復しない、または、悪化していると思われる場合は、あなたの直感を信じてください。

お子さんにあてはまる項目にチェックして、医師または看護師に「敗血症ではありませんか」と尋ねてください。



体温

- 身震いしている、または発熱によって震えている
- 体温が低い（36度未満）
- 月齢3か月以上の幼児の場合、38度を超える高熱が5日間以上続いている
- 月齢3か月以下の乳児の場合、38度を超える高熱がある



呼吸

- 呼吸時にうめくような音がする
- 呼吸が苦しそう、肋骨の下が呼吸時に上下している、または呼吸時に胸骨が浮き出る
- 鼻の穴が呼吸のたびに小さくなったり広がったりしている
- 胸からガサガサという音がする



行動や動作

- 集中できていない
- 起きていられない
- 遊ぶことに興味を示さない
- 周囲で起こっていることに興味を示さない
- むずがったり、じっとしていない
- 落ち着きがない
- 歩くことができない、または歩きたがらない
- 腕や、脚、または手足を使っていないが、明白な理由がない
- 前よりも具合が悪くなっている感じがする



痛み

- 頭痛や、首、筋肉、胸部、骨、または関節に痛みがあるが、明白な理由がない
- 鎮痛剤が効かない



肌

- 手足が冷たい
- 肌を触ると痛がる
- 肌のあちこちが真っ赤である
- 発疹



トイレ

- 12時間以上、小便（おしっこ）をしていない、またはおむつが濡れていない
- 通常よりもおむつを替えることが少ない、または、おむつが重くない
- 大便（うんち）に血が混ざっている
- 24時間以内に5回以上下痢便がでた



摂食と水分摂取

- 嘔吐してしまうため、水分を飲みこむことができない
- 緑色、黒色または血がまざった嘔吐物
- 飲むことや食べることに興味を示さない
- とてものどが渇いている
- 口、唇、または舌が乾燥している



病気は変化することがあります。あなたの直感を信じてください。たとえ、お子さんが最近医師の治療を受けていたとしても、敗血症の可能性があると思われる場合は病院に戻って、「敗血症ではありませんか」と尋ねてください。

詳しくはこちら www.childrens.health.qld.gov.au/Sepsis